

ヴィヴァルディ盤を聴く(1)(HP 収載)
—最新アナログシステムでの試聴(1)—

1. 始めに

[LINN LP-12 の再構成\(35\)](#)および[ThorensTD124 の再構成\(1\)](#)で報告しましたようにこれらのアナログシステムの大幅な変更を行い、バッハ、テレマン、ヘンデルのアナログ盤を聴き直してきました。今回からは、ヴィヴァルディ盤を聴いてみることにしました。

2. ヴィヴァルディのアナログ盤の試聴方法

試聴システムは、LINN LP-12 の再構成(35)および ThorensTD124 の再構成(1)で報告したとおりであり、バッハのアナログ盤をレーベル毎、録音年代毎に整理して、LINN LP-12 と ThorensTD124 のいずれか、または両方で聴いていきます。その後、さらにアンチスタティックの効果(1)とアンチスタティックの効果(2)で報告したようにレコードアンチスタティックも加わり、今回も、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしています。また、今回も Magic Mat II の導入(2)で報告した Magic Mat II を使用しています。

今回は、次のヴィヴァルディ盤を聴いていきます

ERATO OS-2350-RE (日本コロムビア)

アントニオ・ヴィヴァルディ 協奏曲ハ長調「聖ロレンゾの祝日の協奏曲」
協奏曲ニ短調 FXII 第 31 番

ジャン・フランソワ・パイヤール指揮パイヤール室内管弦楽団

ERATO ER-1027 (ビクター)

アントニオ・ヴィヴァルディ ヴィオラ・ダモーレ協奏曲ニ短調
ヴィオラ・ダモーレ協奏曲イ長調
ヴィオラ・ダモーレ、二つのオーボエ、
ファゴット、二つのホルンと通奏低音のための
協奏曲ハ長調
ヴィオラ・ダモーレ協奏曲ニ短調

ジャン・フランソワ・パイヤール指揮パイヤール室内管弦楽団

ERATO OP-7060-RE (日本コロムビア)

アントニオ・ヴィヴァルディ 協奏曲ニ長調
シンフォニアロ短調
協奏曲ニ短調

シンフォニアト長調
四声のソナタ変ホ長調
協奏曲ト短調

クラウディオ・シモーネ指揮イ・ソリストイ・ヴェネティ

3. ヴィヴァルディのアナログ盤の試聴結果

ERATO 盤には、日本コロムビア発売とビクター発売の二つがありますが、ZANDEN のリストを参考に、ともに RIAA、R、第 4 時定数 Mid で聴いていきます。

OS-2350-RE (日本コロムビア) 盤の協奏曲は、RIAA、R、第 4 時定数 Mid の条件で違和感なく、トランペット他の複数の楽器で構成される協奏曲ハ長調は、副題の「聖ロレンゾの祝日の協奏曲」らしく輝かしいトランペットが活躍します。フルート他の複数の楽器で構成される協奏曲ニ短調は、個々の楽器の質感がクリアです。

ER-1027 (ビクター) 盤のヴィオラ・ダモーレ協奏曲は、RIAA、R、第 4 時定数 Mid の条件で違和感なく、ヴィオラ・ダモーレはヴィオラと違って 6 ないし 7 弦の演奏弦と同数の共鳴弦を持っており、共鳴弦の効果で甘美な音を出すことからヴィオラ・ダモーレ=愛のヴィオラと称され、その名のとおり甘美な音色を聴かせてくれます。ヴィオラ・ダモーレ、二つのオーボエ、ファゴット、二つのホルンと通奏低音のための協奏曲では、ヴィオラ・ダモーレとその他の木管などとの掛け合いで木管の質感もしっかりでています。

OP-7060-RE (日本コロムビア) 盤の協奏曲とシンフォニアは、RIAA、R、第 4 時定数 Mid の条件で違和感なく、協奏曲もシンフォニアも優雅な曲です。特に協奏曲ニ短調は、ヴィオラ・ダモーレとリュートの掛け合いが優雅に展開されます。

4. まとめ

LINN LP-12 の再構成(35)とアンチスタティックの効果(1)とレコードアンティスタティックやスピーカーアキュライザーの Crstal EpY-G や Magic Mat II の結果をトレースでき、レーベルのイコライザー特性が特定できました。

以上